



日々新たに

私たちができる SDGs とは？ (校長講話より)

人類はこれまでになかったような数多くの課題に直面しています。 **貧困** **紛争** **異常気象** **感染症**など

このままでは、人類が安定してこの世界で暮らし続けることができなくなると心配されています。

そんな危機感から、世界中のさまざまな立場の人々が話し合い、課題を整理し、解決方法を考え、**2030年までに達成すべき具体的な目標**を立てました。この目標は、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標として、**17のゴール**と169のターゲットから構成されています。

また、地球上の「**誰一人取り残さない**」ことを誓っています。すべての人が安心して暮らしていける社会をつくるために、子供から大人まで、また性別、障害、人種、経済状況などの違いによって取り残されることがないように、開発を進めていくことが大切です。

その2030年とは、今から9年後になりますので、みなさんのほとんどが社会人になっている年となります。その時に多くの課題が解決できていないとしたらどうでしょうか。解決するためには、今から始める必要があります。そして、それは誰かがやれば解決できるものではありません。**私たち一人一人が解決に向けて取り組むこと**が重要です。

SDGs

持続可能な開発目標

Sustainable
Development
Goals



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標



私たちができる取り組み例

- ① 募金や寄付活動に協力する 【貧困】
- ② できるだけ徒歩で移動する 【健康福祉】
- ③ 電気をこまめに消す 【エネルギー】
- ④ 水道の蛇口をこまめに止める【安全な水】
- ⑤ 食べ残しをしない 【飢餓】
- ⑥ いじめや差別をしない 【人権】
- ⑦ 家事を平等に分担する 【ジェンダー】
- ⑧ ごみを増やさない 【陸や海の豊かさ】
- ⑨ 再利用する（3R） 【つかう責任】
- ⑩ 戦争や平和について考える 【平和】



フードパントリー・ボランティア

「フードパントリー」とは、余った食品を提供する支援活動です。



さらに一人一人がこんなことをしたら

★ボランティア活動に参加する★

藤沢中学校の伝統でもあるボランティア活動こそSDGsにつながる大切な取り組みの一つです。

★身の回りの課題を見つける★

自分の身の回りで困っていることや課題はないでしょうか。そしてその課題を解決するにはどうしたらよいかを考えてみましょう。もしかしたら解決できる方法が見つかるかもしれません。そんな視点を持って生活できたらいいですね。

★スマホやネットなどで世界のことを調べる★

みなさんが持っているタブレットを使えば、世界中のことを知ることができます。今、世界でどんなことが起きているのかを知ることがとても大切です。これは難しいことはありません。タブレットを手元に置いて、ちょっとした時間に指先一つ使えばできることです。

★気遣い・思いやりの心を持つ★

藤沢中で大切にしている、気遣い・思いやりこそSDGsを支える気持ちの根幹となるものです。困っていたり悩んでいたりする友達がいたら、声をかけるなど相手のことを考えた行動や言葉を心がけましょう。そういう気持ちを普段から育てていくことが大切です。

資源回収

SDGsの12の「つかう責任」につながる取り組みです。

少しずつ世界は変わるかも！